

## 国立病院機構仙台西多賀病院で東北地方初のロボットスーツ「HAL医療用」導入 筋ジストロフィーや神経難病患者等の歩行障害改善に更なる期待

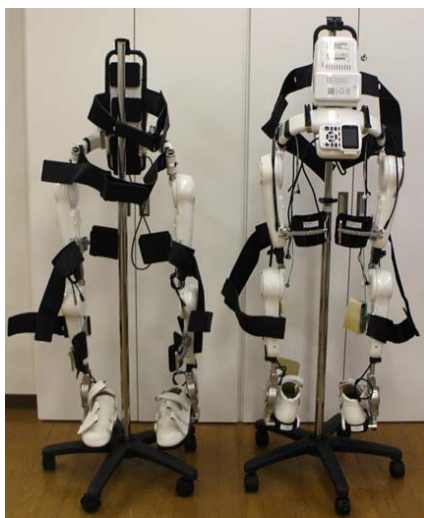
国立病院機構仙台西多賀病院では、東北地方初となる医療用ロボットスーツ「HAL医療用」を導入し、平成28年12月1日より神経難病等患者の歩行障害を改善する治療を開始しました。

※平成28年4月より保険診療（診療報酬）が認められ、平成28年9月から国立病院機構新潟病院及び同徳島病院で治療を開始していますが、東北地方では初導入。

この治療は、腰から両下腿部にかけて、医療用ロボットスーツ「HAL」を装着し、「HAL」が皮膚の表面を流れる電気信号を感知することで、筋肉の代わりに歩行補助を行い、歩行障害を改善していくものです。

「HAL」による治療については、医師の診断が必要となります。  
詳しくは当院神経内科外来にお問い合わせください。

◆国立病院機構仙台西多賀病院ホームページ  
<http://www.nishitaga-hosp.jp/>



【HAL医療用】



【歩行訓練の様子】

### 《照会先》

国立病院機構仙台西多賀病院 事務部企画課 企画課長 亀井  
住 所 宮城県仙台市太白区鉤取本町二丁目11番11号  
TEL 022-245-2111  
メール kikaku1@nishitaga.hosp.go.jp